

# 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト点鼻液)の接種について

説明文

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト点鼻液)の接種を実施するにあたり、接種を受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入ください。また、気になることや分からないことがあれば、接種を受ける前にかかりつけ医や看護師、町健康福祉課の保健師に相談してください。

## 予防接種を受けることが適当でない人

1. 明らかに発熱のある人（37.5℃を超える人）
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 今までに本ワクチンに含まれている成分で、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のひどいじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）を起こしたことがある人
4. 明らかに免疫機能に異常のある疾患をお持ちの人、免疫抑制をきたす治療を受けている人
5. 経口または注射の副腎皮質ホルモン剤を使用している人
6. その他、予防接種を行うことが不適当な状態であると医師に判断された人

## 予防接種を受ける前に、医師とよく相談しなければならない人

1. ゼラチン含有製剤またはゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）などの過敏症を起こしたことがある人
2. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患をお持ちの人
3. 今までに予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性の発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
4. 今までにけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある人
5. 今までに免疫状態の異常を指摘されたことのある人、または近親者に先天性免疫不全症がいる人
6. 重い喘息のある人または喘鳴の症状のある人
7. 薬の服用または食事（鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のもの）で発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
8. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
9. サリチル酸系医薬品（アスピリンなど）、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸を服用している人

## 接種後の注意

1. 接種後は、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）が起こることがありますので、医療機関にいる等して、様子を観察し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
2. 接種当日は過激な運動は避けてください。また、健康状態に十分注意し、体調の変化、高熱などの異常な症状が出た場合には、すぐに医師の診察を受けてください。なお、接種当日の入浴は差支えありません。
3. 接種後1～2週間は乳児や重度の免疫不全の人との接触を可能な限り控えましょう。

## ワクチンの効果と副反応

本ワクチンはインフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンです。接種後に体の中で増えたワクチンウイルスに対する免疫ができ、インフルエンザウイルスの感染を予防します。

一方、本ワクチンの接種に伴う副反応として、鼻閉・鼻漏、咳嗽、口腔咽頭痛、頭痛などがみられることがあります。また重い副反応としてショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管性浮腫など）や、海外ではベル麻痺を含む脳神経障害、脳炎、けいれん（熱性けいれんを含む）、ギラン・バレー症候群（手足に力がはいらない、しびれ、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しいなど）、血管炎（発熱、頭痛、倦怠感、紫斑、紅斑など）などが報告されています。

## 予防接種健康被害救済制度について

接種後、なんらかの健康上の問題（健康被害）が起きた場合に、医療費や年金などをうけとることができる健康被害救済制度があります。制度を利用できるのは、入院治療を受けられた人や、一定程度の障害が残った人、亡くなられた人のうち、その健康被害の原因がワクチンを接種したと認定された人です。その際、予防接種をいつ受けたか等の記録が必要となりますので、必ず健康手帳や母子健康手帳等に医療機関で記録してもらうか、予防接種済証を添付しておきましょう。